



B&B Italiaのソファがコの字形にゆったりと配されたリビング。空間の余白によって斜めに落ちる自然光やアートや照明、小物などが引き立つ。写真右手にはプールガーデンがある。黒い格子の建具が空間を緩やかにゾーニング。センターテーブル ¥960,000 (ミノッティ) ティーポット ¥26,000 カップ&ソーサー各 ¥10,000 ティースプーン (2本セット) ¥4,500 ブランケット (右) ¥113,000 窓際の鳥籠 ¥33,000 ラグ ¥560,000 ソファと床以外のクッションカバー (右から) ¥32,000 ¥28,800 ¥19,100 ¥32,000 (すべてカッシーナ・イクスシー青山本店) フロアランプ (窓際) ¥75,000 (壁際の植物左) ¥135,000 (2点共日本プロス) ブランケット (中) ¥16,000 (左) ¥22,000 (2点共リビング・モティーフ) ソファ背面のゴールドドット柄のキャンドルホルダー ¥7,000 グリーンのオブジェ ¥18,000 グラス球体のペーパーウェイト ¥25,000 アート ¥350,000 (すべてロイズ・アンティークス 青山)

HOUZE

余白を生かすラグジュアリーな「ハウゼ」のプラン 光と水を取り込む都心の大空間

都心の住宅地でありながら、その喧騒をまったく感じさせない上質な時間が流れるM邸。プールの水のきらめきや涼感、天候や時間帯によって変化する自然光をLDKに取り込みながら視線が平行に抜ける、贅沢な空間の余白を生かす「ハウゼ」のデザインが実現しました。

撮影 / 山本育憲 クリーンコーディネーター(室内) / LOVE GREEN



住まいの随所に設けられた余白が豊かさをもたらす



3 長さ約6mのゆったりとした玄関アプローチ。都心の喧騒から気分を切り替える役割も担う。4 2種類の外壁材を組み合わせた外観は、平屋を思わせる佇まいが風格を感じさせる。5 ダイニングから見たLDKの全景。モールドテックスの床がラグジュアリー感にラフな素材感の雰囲気演出する。テーブル上のガラスのオブジェ¥50,000 シルバーのボウル¥17,000 (2点共リビング・モティーフ) 床置き白いランプ¥116,000 (カッシーナ・イクスシー青山本店) 6 ハイサイドライトが視線を上へと誘う階段スペース。7 夜のダイニングは壁面収納などの照明により、ホテルのバーラウンジのように演出されている。



1 鮮やかなブルーのタイルがリゾート気分を演出するプールガーデン。ダイニングから出入りできる。プールサイドにはモダンなチェアを置いて過ごす場所に。2 夜は照明を調整することで庭と室内の一体感が増す。グリーンチェア¥900,000 スツール¥300,000 (2点共バオラ レンティ) ランタン(大) ¥25,000 (小) ¥18,000 電池式のキャンドル (大) ¥5,000 (小) ¥4,500 キャンドルスタンド¥25,000 (すべてリビング・モティーフ)

光と水——自然の営みを引き立てる空間の「余白」。
ラグジュアリーな住まいの条件の一つとして、空間の「余白」が挙げられます。それは延床面積の広さではなく、家具や小物などを配置し終えた後に生まれる「間」のようなもの。それがもたらす清浄な空気の流れや視線のヌケが、庭との一体感や刻一刻と変化する自然光の表情を住み手により感じさせ、空間にラグジュアリー感をもたらすのです。
ここで紹介するM邸も、空間に絶妙な余白のあるプランが特徴です。それが顕著に表れているのが1階のリビング。エントランスホールから扉を開けるとすぐ右手にリビングが広がっています。設計を手掛けたハウゼは、あえてソファの手前にゆとりとしたスペースを設けました。それにより、モダンなソファとその向こうに広がる庭を一緒に眺めるような感覚になります。「リビングはすべてフィックス窓で、直接庭と出入りできないことが不安でしたが、

実際に暮らしてみると窓枠がすっきりして、庭との一体感が増しました。ハウゼさんを信頼してよかったです。Mさん。ディテールの追求も、余白のある空間の質を高める大切なポイントです。
リビングとダイニングキッチンの間には床にレベル差があり、格子の建具で緩やかに仕切られています。これにより段差の周辺が余白となり、植物や照明で空間の演出を楽しめる場が生まれました。間仕切りの扉を開けるとリビングとダイニングがひと続きに。リビングからはキッチンが視界に入らず、プール付きの庭と一体となったホテルのラウンジで過ごしているようです。余白を生かした空間の演出は、LDKだけでなく、エントランス、階段スペース、バス&パウダールームに至るまで随所に見られます。
M邸が立つのは都心の住宅街。しかし、室内ではその喧騒はまったく感じられません。余白を生かした設計が、Mさんの日々の暮らしに上質な時間をもたらしています。

